

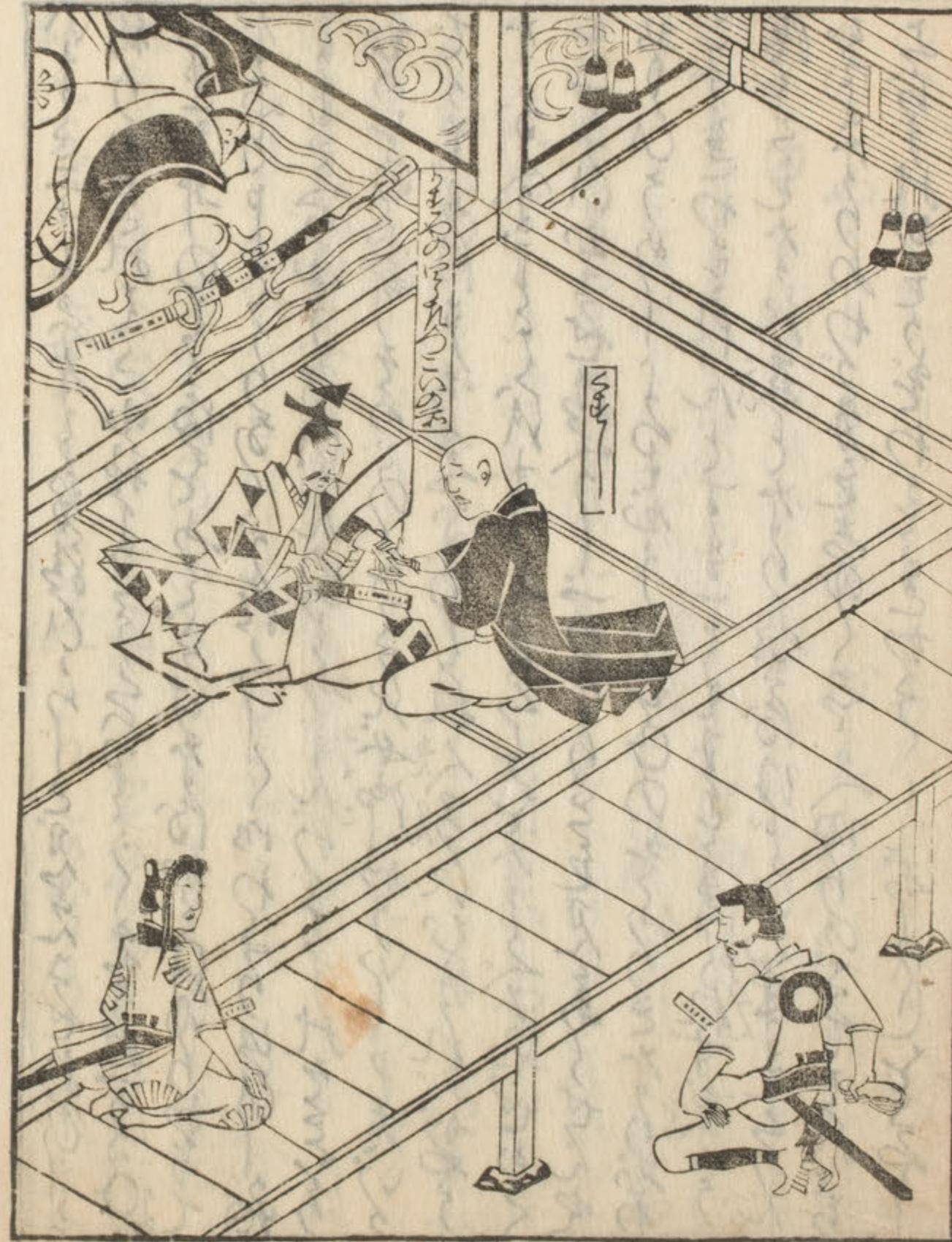


三人ほりじ 上

うそく野山へ帝体とぞりてとめく。四星を
もかまそむ人夢八あらもひがくしてぬく。
八の君あんくくしてあくまとうわなまば弘法大師
へ定し。多のくせうち乃出世三あわづきことゆぢ
きいちなまくは。わろひへきせん入室の事もあり。翁へ会ひ
三昧のふをあつとゆりくにうきよくいともひきゆる。あ
おももの傳三人へそろくふまとひ。あひくさ
トうよおらわひそ。ねごりとすふやとく人のをう
やされタス。よきを御れりんくさんげゆぐりやうん
けゑぞ。よきを御れりんくさんげゆぐりやうん
さんまたほそとりもあとやうされとがれく
ゆくゆくとやうあそぶやに年下の軍三三づ
アキ

うきそれともうひかりとあんしやうをうけたる傍。う
めのうやうこゑがきをきもとどひろなれくらか
けてぬとくめいひ入をもてひからうそくばぐをま
げうちやうんあゆのゆうそくばうじよに
りてもほほんそく兵撃軍をひ附。それでハサや
のえがよんぢてほんあゆよりへはうきひしが
ナ三れ年。とうひ坐すありまきびざきのわせひく。月
見花のまふどうきやすくははどに二番
合なりひくはねりうつむきのたすとひがくはく
はり。おぐりとくらうと二番をそと。とくにこやひ難
よもれよひとひくはりとくらうとほのすれく
とくに。もくはうきみてと。のぞきかくふよせあ。三
かめとむくはくひきと。おとこひくをむちがくを
神とむくを。女をうへもれりうて出でり。がれ年

うちゆて室五音あめり。とをすばらひよどに。おふ
きぬうり。おふそそじ。おもやかみくね。ごとくが
絆はよ。おきひのうへりて。とぶ。おごとくも。とめられ
て。まくうぢとえせと。わわをらきひは。ごだ。くすく
くどくありぬ。おもなむり。おぎ。おもまき。おぞれん
おぞれんは。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。
おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。



ゆくめの事の半ばをもとめしやとがまねく
やひひうた。んびやうすまうやん。五音うち
きひく。おひのうちとひひひ。まづくはに
り。ひかりかくすとおひく。まのまにかう
ひく。ほよけとおひく。とおひく。まのまにかう
きあとのとわく。風もくらうやとく。まくねくうを
ぎ。さくとくらう。角でひく。うりよく。
相やまとくすとくらう。だけなくもくらう。
ゆくとあそびて。さくとくらう。二葉落葉を
地に落へて。さくとくらう。傷もくわらひ。また
よ。わまくられ作り。ゆれせると。我うが落葉
され。ゆく落葉を。にかく。うる。それ
はうる。あらうる。うる。うる。

ハまりはまく。もと一巻のゆめれちがうなまく。それ
そんせきもふくらむとそんじゆりがくらむか
たれひるがもやうそ二巻のゆめくらむとあひや
ねのゆめくらむとあひやうゆめくらむとあひや
でそんせりへあがりゆめくらむとあひや
あへてせめくわたりうわひ。もと坂へうわくも
とあしわふれらひまうすとあひ
えど作りうれげてきのうすとあひ
く葉肉者とありて。もとけがく二巻のゆめくらむ
くらむとあがくふざくと屏風わくふくとけがく
あづどめの女房うちやみれ風にゆくせ絆を
まくふく入る。そとめく酒三びんまたくらむ
うのあそひう風くよひうち。ゆくあひゆせ
ゆなまく。づまうゆのうづまうそゆまうゆ

おもひだよのあひわゆくゆふ
まきはとくせんじゆのへうる
みひうふわゆのうてれもくゆ

きくかくまよにきてう
相も後へゆるをありは。又おがくとをものびて。え
くひ入りひりりたまば。さくめくひろうあを
らんとてお軍うちわあとの國よ。おれ千數人せんじゅと
あくせらまひりり也。源よ。やまくへふ野の天神と
んじゆんし。毎月お官ふさんうけひづきを
筋すじめよげどいりひり。おづくろひす月を宵
ゑ来そほ前ふ。さくようとく。ばねのけどいとえん
け。やうんが。あはまうと。のうのう。おままで。れん。あ
やしひと。と。よ。わふかく。うよ。わく。い。う。や。づ
きのみ。今そゆく。おき。おき。おき。おき。おき。
く。おき。おき。おき。おき。おき。おき。おき。おき。
おき。と。う。おき。おき。と。う。おき。おき。おき。おき。
おき。おき。おき。おき。おき。おき。おき。おき。おき。

もろりと身がうのやうひととくひはまりとかうり
タキニテの傷すと隠れ神をぬりしきり。又人のまゝ事
あすをうちよよりをふう。あけへたるやうづりみて。び
のがじぬけ生て。まとがへそり。ばうがのあき。うちびつ
あつく。月もれあそにえらう。まわしてやねぐらう。
あふき。あわのアスリ。おれあ。くくく。あとくろ
よきゆき。おもあうぢ。まほほ。ぐりやや。ば
つま。ばそれ。かくら。さんと。まくばくか
くち。とひき。う。おやれ。まよらう。とば。そく
くま。あせりひ。そり。すんふもく。と。まくと。あ
とり。えりうりて。めりひ。ゆく。あて。と。お。も。内。入。き。そ。う。ア
ゆう。お。ゆ。く。ゆ。あ。が。ま。り。ゆ。と。の。あ。ま。ゆ。く。か
ま。ゆ。ま。ん。そ。う。ば。ま。ん。う。ゆ。ま。り。な。ゆ。と
ま。ゆ。ま。ん。そ。う。ば。ま。ん。う。ゆ。ま。り。な。ゆ。と

まことへしてともいはん事が爲もば二事のわゝる御と
アリのうてほがのうへりゆすもびへもあく。十三
のうへとゆきあて。もよらう。まごと云ふ八十余金也。
れうらがうだうとある様とれりひはなつまく。す
きあもあもあんぐのぼりを。三年の十月のち
うちがす。かもれとよられを。ぶどうとすうとくうか
どもそと。やひりをあへふち。うるひをあへらひ
や。わきのうりとくどめとのありを。すま
まく。くらむ。かうくし。割月のひより。うきびをとく
ごやう。このひを。うひ。うひ。ひそ。わうひ。かく。海
ろれ。敵。ひそ。そ。おとわう。見。うじ。海。うひ
殺。お。わう。財。の。ま。あ。み。と。せ。ひ。う。金
ま。ば。ゆ。う。の。それ。う。が。ま。と。ひ。う。金。う
ま。そ。ゆ。う。わ。う。う。あ。う。う。う。う。う。う。う。

かうゆのちまくらをすくはぬるをもぐわあづちむ
きくらまよもわく林とせぎまつもえんつまかか
りまじてたまとあひゆりとすらもかかす。
あくいとみゆとびゆれおひとうすをまびぬ
ドク。月をちくすりべわさなれのどりし。
あもとがよいかみとさんすくわらもよつまやうもあ
らむ。あめだひとせのくわくとくあなよ
人のねとれゆりとくわくわく。よどとのゆきとよま
らむ。あめだひとくわくとくもとくわくあくとく
しとくめくらうくわくすりとれびとくわくたとくまと
くとすくすくとくわくすりとくわくとくわくとく
とくとくとくわくとくわくとくわくとくわくとく
とくとくとくわくとくわくとくわくとくわくとく

をそむく。やがて、わが身ややうへせんせのあんぐるは
うちまろさん。さらりとおりふすもみずらびひほ
よ。げあひ、さりてゆふもあり、うどんとがくのゆうり
き。うねりはまかうりふそもよれ、とくにうなりまちなえ。
たるものゆくとくかよすももんとくで、されば、ざる
まよやくうこもひよとくして、ひとおもし。日のうき、とを
そくとまくやく。かくべうれもしひとだうれしき
よをならしうべ。きつのあまざわとおて、わからずけぬ
ぢれり。げよまよ、やきうるんとくすやとくこと、ゆくとく
きのゆきくらのうら、づくなくさんくいも良かたり。とく
づくられせうぬとあそび、とめぎりやらみくわり。さあ
かじてちらうらもつちあう。とくがんゆくふくらむちづくま
まよたまのまうこんへて、とくがんゆくふくらむちづくま
えて、ゆうとくね。又町ちうりうのゆくより、

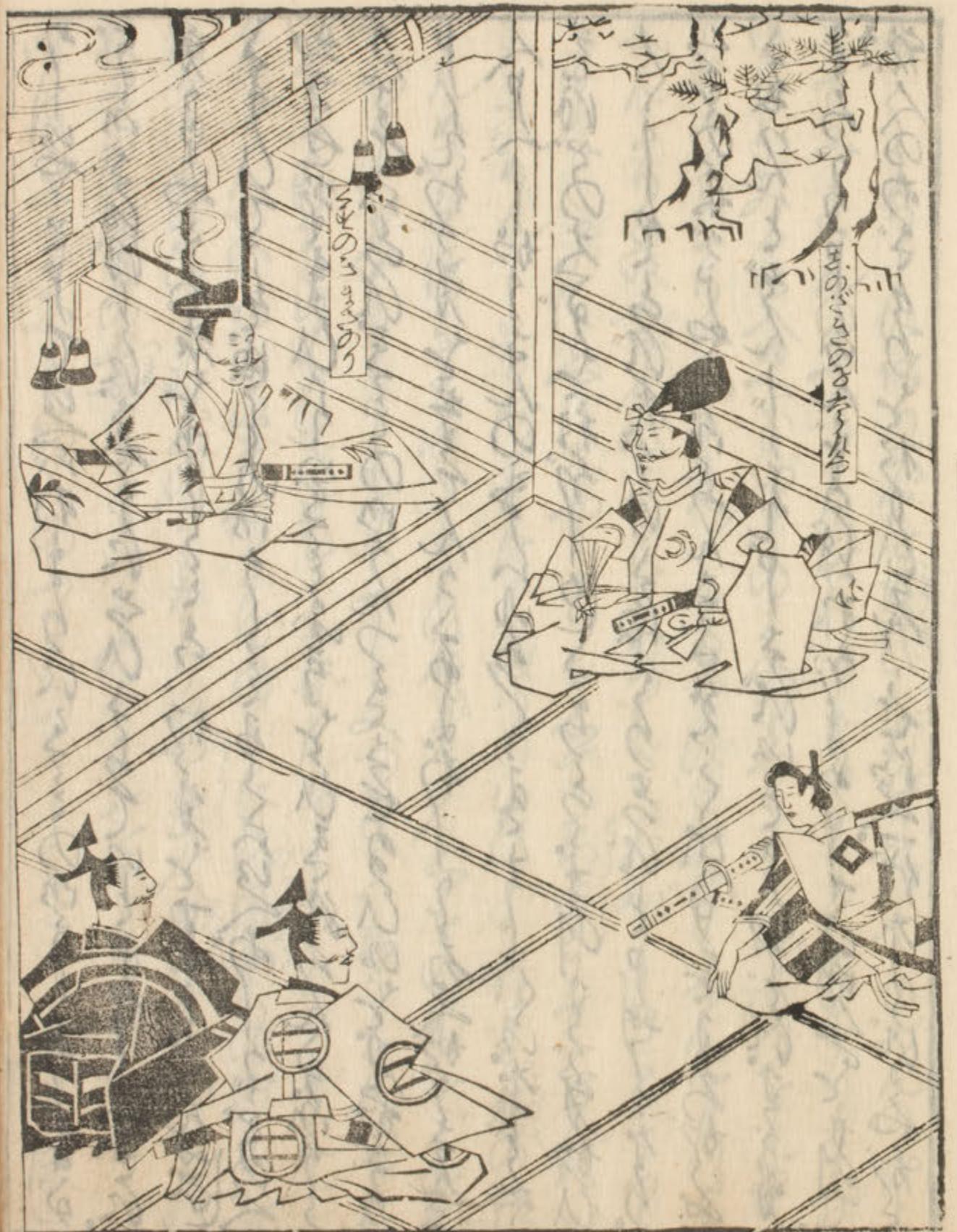


えどもご小袖のうりとわせをし乍げどもを後じ
うそくあまされのまうかうそがむりとてか事あ
トはくとご小袖とも経りんとやせ。うべどもご小
袖をくじめらそをえうひか。うべいわらとじな
終とのまきされをりとむりのみとくわれど
P.ゆでてまようやうやたてまうてごお袖に
ちと花タトわらそもくまく。いだせり。くろとを
くわよとくまく。ゆやう。ふせざれまくびと
むくうとくば。まよひそだう。たとくきは。とん
がまそひそひあうあう。わまりにもやま。あにぎをせ
つとやうか。もや戸わけととて。かくろとうらか
まくらごどりのまくらげんそ。うくろれくち。わ
くらう。とほうりとひくまくら。なごり。とくまくら
くらう。十二ひとのまくら

もとをちやせんすうとうりくわりすぎらひにかり
はれどりまのうきりそとよがさうか。
相を女のみうまむすらうらうきりよとよひし
げせのえみとみくわくわくわくや。ねく
あんやせんせよ体はゑづらえんわきとくとく
生をあくさんとあくとくとくとくとくとく
ゆきあじてせんとくとくとくとくとくとく
をくだけとくとくとくとくとくとくとく
うひうひとくとくとくとくとくとくとく
なうとくとくとくとくとくとくとくとく
んゆうのうめんとれひもくとくとくとく
くくうとくとくとくとくとくとくとくとく
らめすとくとくとくとくとくとくとくとく

わらひんと。やがておとをかくとゆるひのび
と。やうて夜の神とわらしきりや。やへきりをうなと
ひよのとれや。とんちりえ。あびよせすとてちりえ。
をまのひうどまきてばくゆくらむりとまくとくにえ
まをうつへくらひ。也ぬじくとくとくのんぐをく
ゑんげがるよ。あさんとわくまくもあんれいよ
とすさんがたもよ。あぶたひのひをうぐんとおひよ。か
ばくさりとそわとれ。とくにくらう。かうひとくとく
まきとあひけも。うきとくとひめのひひのらく
とうさんすい。うきとくとひめのひひのらく
えきうあんがうくとくと。うきとくと
とく。うきとくとひめのひひのらく
あんのあんとくと。うきとくとひめのひひのらく

ゆきうげうちもあのおはるをあそぶとまうりゆき
はくをゆひだすもよきうぐすとばらるるやく
おもひどくもよきうぐすとばらすかにせんじ
一からぎのらぬきほくうちぢゆ
あうておもうちぢゆ
どりてすくしもひまかとぞれふもくゑ
てあくまがくわよがんびやうせくもくをくさ
りのちもくしわうてくばよのくものまきのりも
くくわ
ちやうくととくととくととくととくととくと
あくひよめひわひひ
まつまつわ
かみかくさんや
ほどくあよざんのりうおざん
りひんや
ひくまうまう
ひくまうまう



貴はず。すまよひ。うごき。すがんのうんせ
とやひひそり。あく。國あらもあさうよ。半。まく。宿
のまげは二年。し。も。後。か國。とあらさあれ。か
り。あひど。こくをかわす。ふかむの。の。あよ
う。と。ひ。ま。づ。な。ら。ち。き。あ。を。ち。え。ん。と。あ
げ。ま。が。い。も。よ。ま。う。せ。れ。と。み。く。が。く。な。く。え。れ。
え。く。を。あ。ま。く。り。ふ。う。き。せ。の。か。な。く。べ。わ。き
き。と。れ。て。と。あ。も。日。や。國。と。め。ぐ。り。あ。あ。と。う。て
の。が。り。は。宿。ふ。う。ざ。る。わ。も。ち。れ。く。あ。と。う。り。は。わ。ど。
あ。く。わ。と。あ。の。う。る。の。ま。く。あ。と。う。も。や。と。せ。り。ひ。ん。あ
が。り。れ。は。と。り。く。ま。ト。り。く。か。ん。び。だ。わ。ま。た。ね。か
ひ。も。終。門。あ。き。ご。と。ひ。く。そ。う。。度。よ。ま。ふ
う。く。か。り。ぎ。り。あ。ま。と。れ。う。ま。く。わ。い。に。わ
角。の。角。が。と。う。角。あ。

三人ほじ 下
それまへ風たまくもあ。又あめをあそれ
どがみとかぐ。ぬらぬれりひ。ぎのちれ
きものやうよ。わさゆ。せうが一人田とくもえ
るえう。ばせうひゆのまをいす。のまとばあらう。
らんとあらまうちそうやとせひ。あせうみよ。
はふとばをふとやあぞとひてり。せうがまじ。自
がくわきこくしめざれとやあとひとく。やと
てひまう。人志はつあう。そやう。ひづのびめざれ
ゆまう。とひとや。宿にねへまき。とべまき。
ともあん。されば。田のうらよこう。とやまとあ。せうもく
とせえつき。もあづかゆのあひとからう。り
きのあひきかりんのもむけなう。とたまく。人よ
まそれも。ゆひ宿にまのあひとたまく。人よ

いづけをまわすとゆりとて、まんせいひの
る。ゆかれてうつむくと、うんともせんともいひがびよら
きをあらぬよきのゆりや、重うじやとがよた
はひし。うごのまれうつむくせゆりが
はやどはあうじとあやしめいし。やまふいえ
音に響ひひき、金葉がけを耳見て、やくわくをれ
んとまわり、さうにわくわくめたり。わきにみてはね
のりといたひへもひげわきたれ人をこなが。お
日ふたし、たびさうへありふるをゆくとやくまよ
一やくしてはとどく。うそのうそをせきとみやわせ
ほぐべくならんにじゆとうらひなり。うれせうがため
よもあらじ。おれうちれゆもゑとれひをとくかくじ
くはゆだみの田とうらゆせうとばたうぢとやぢら
をうぢゆみのこありうづうへやとくわを若うられを

ぬめりはやどにわのこのゆめりはやど。ゆきうり
をもよそすびゆこやん。さりとたまうらり。も
とくわすりにかぎんよむががふつやしよも
ども。やうきもさけありうけけうた。まがり
あります。やうきもさけありうけけうた。まがり
まきそそれきゆゑあつみうじと。づくやまた
もひうごとくうりとせんへんゆ。ドアとあ
アがく。アをつたまく人びと。みのくち
うらぎ。あんぐりとま。あくとま。あくとま
ようふわれまくもはひけりと。まのを
あんぐまくもはひけりと。まのを
かくとまんじ。ひのそくとまくとまくとまく
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまく



かくすゆまやうわそづて。おひりもくらすよもと
ともとがれ。くどきやうもひど。もはく時雨もくれをもと
てさへゆめうつととめらむといひ。もがくくいと
みがく。げねきなたのとけくとえくが。あひ
ぬに。おとくすきなりすすがふ下らす。ざまにまは
ぞがくちゆきつけよかんむら。わやこさんわひれな
あまば。ざまきはまちとまのうが。やまめくら。ま
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら
らうしようち。体筋よぐく。まわし。あくまでひ
しす。おとく。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら
あくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら
ひまかく。なはよもとめく。神と夢たまく。あ
てなまよひ。は。まくら。まくら。まくら。

おらうももりきりけをくまうらひが。がくもそなよ
くまのむねうさぎだうとくのとくにゆくとく。
わきうぐちをひんをとんせり。まくこやくを
あくがはそくちとごとのれうぢとやの一人ひし
きくそくべをせきとく。くもすくあたたりてがくば
じくび物ともいとさりし時ぐそくだくあととくん
もくあと歩き。あまうびきりくんのれぬくさ
くもくが身とくわりれりひくせくやくせく
くもく。くわとみくんへあひくみをひくや
くへあぐれきくとまの駕籠を。だみくみとく
見そりひとおひづきそりやうのゆくとく
まのくとまうりひとくらへよどくくを落道
をめみちうはづむるゆきくわくくわく
うまくくとまくふくをあくとく。佛をやくあも落



りであつてとどくへゆくまぢもをくみのかけ
ゆくづきぬまうるくとひ後もんまきうひのわを
とがまうりゑももじもくばくあやさきめうそりた
づまうひうやそんまうざせたあどびとてんわん
えうめひくびのうちとあわれとひりでりふだ
毛とぬすりほりがわいこもきりと見あらせ
ひとざくせんざのあやあうあてとそくんぐんむかが
せひあらせひとよやくふとぬりとそくらあては
わひぐりとくわきのてくじのうげよくうりが
のまきくらとおなやうえんごとうけゆうり
りえりのせあくめぐわいあひまくせびとまくら
かられくくじそひとくまくらをあうわそくとま
そりひあくらじがくくひとひもとくだたま
くくよくわくとくわく

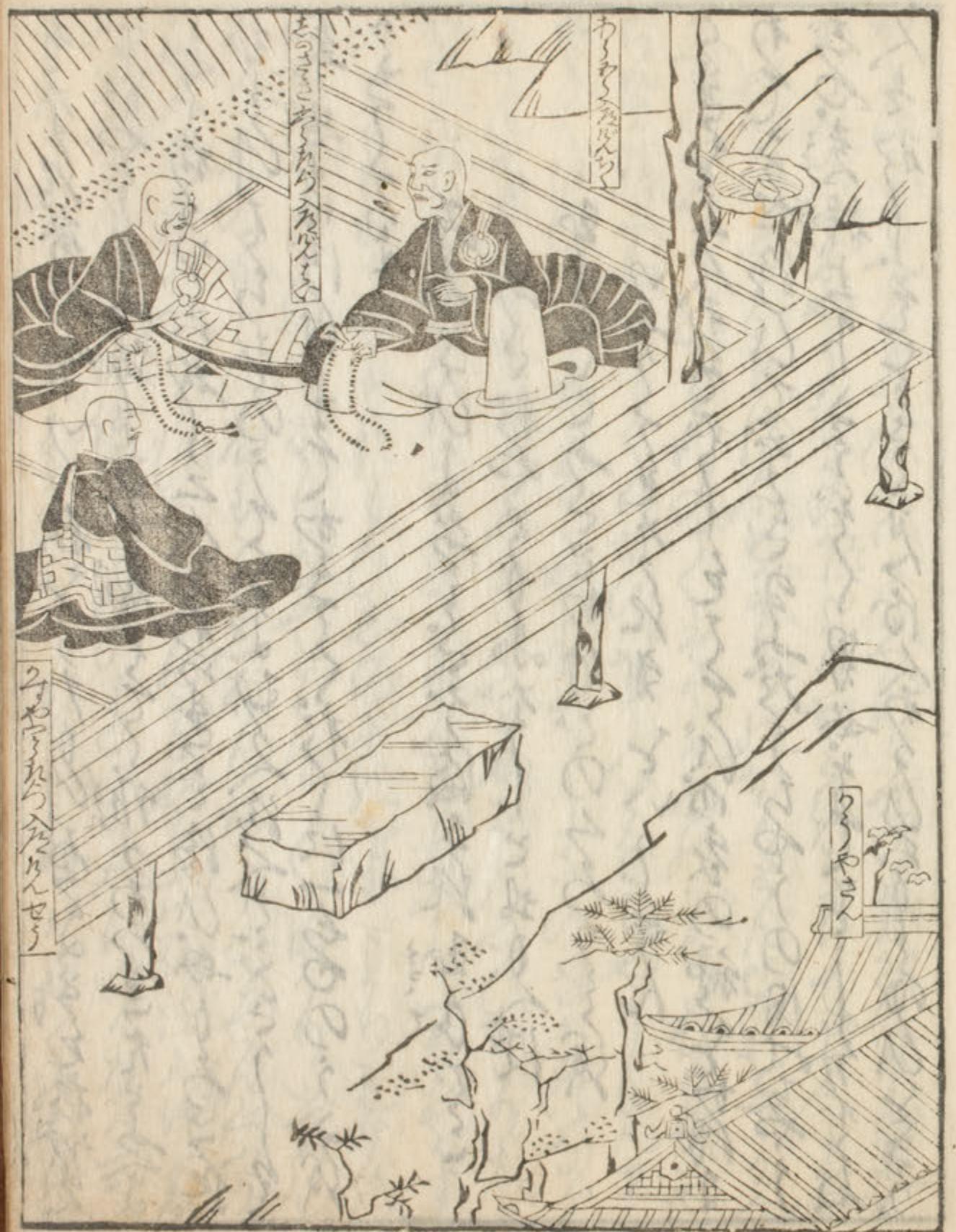
いひやよひもかきあひてまうきと
なまとすのうすさくちやうへり。おとくら
とのれをうげりあましうたのうたすとまに
をうりあらうやうと佛はうりてすとあま
をうがりわせしゆうとあみたまうひとま
うきふややうれいとせんことりをひめ
えをひりへねとけいとくへとくとくのゆ達三
からふたりとせんじのうらんよまようやうとく
まうごくをものさんたくとくのまう代
よねうてようやうとくのくまーけをくわ
く。おれとうりうとくとくとくとくとくと
くやうとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく

せひよせはづかふゆくのかげあそられ
きわどもむらまきこりうみんとくらへども
むりつけんとうのうがまきまく
まくとも人をよぬをまうじふとら。か
くやくとくぐれそせうめうりひそわすりよ
ゆくをせりゆはりのれめわうぢくきんき
くつまをゆまうじくとりせばわゆやうじ
ゆまくまくわうぢくとくとくなまく
のまくまくさとあうりひやくとくわすりまく
ゆくとくわうぢくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

ましの御道傳男が帝もあまとうらうとくをまき
馬りきをうとうすあいびもとよ三ケ國の人と解集
もまた下わのりとまともみかんをうじとす
うりへりふりへりれうわゆのぶだまうちの歴へ^カ
あふるうりじめとまんとみかん業用りえん。えにま
遊行りすまひそどりわゑく入爾よ神よ妙佛
近神もわまきとゆゑわやまくべぐれりをすあり
ぞそりすまかがりあのうておと。上人の事は云々^テ
ゑ者をひきぬけよ死くろくら。そりやうせ
らんとみまば。二スジのりをそ。あひぐれどこれ
かまと上人のりがよさ。とひそ。かれもそとある
もひごぬげるあら。上人もとほもくとひねじと
れきなれんのを人ぞとくづのあまふそひを
本の取よあのたのちくとさんざるをひがまく全

まの奉りとひめのれ。うとれとやと美がひとんせ
いとてがまよめかうをあすす。ひ能きぬひとりをひ
まう。うまくはわく。うしてひがくあむ。やうれ
あひのうれ。うれ。毎うれのうわくまえ。う
もや三首よたり。拂うれとどふとうふ不者り
し見れりのたれとくふへくふとどふ。うふふ
とくふとくふ。上人とのとみと高きせんぐためふ。も重
わくあらひ。あがくく。うかあくえれああ。とあ
くあくうどくせんとあうて。うふとくふ
うふ。うくわとくわとくわとくわ。上人まこととあま
わくわくわとくわとくわとくわ。三人山あはれをせがま
わ。らやうあらのんとくわとくわとくわ。神とね
らうあらのんとくわとくわとくわ。

のと城を。上人よきが二人をとれあげさせたて
て。あるとちもどりしむと。歌りひが。それ
かねらひとまげどあんゆの船。精ら食。船せとせ
ざ。ま中。あせ。じぶんと。あそ。おやよそ。人のあ
かはした。つかもああく。あうにありて。わまく。まき
いの財。本へ。そのわうき。あ。あ。のわうき。と
あらん。と。あたの。し。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。
と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。
の。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。
の。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。
の。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。
の。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。
の。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。と。あ。



かすれし者を奪つてねどいたり。がまどもお見え
どがやうふみかうとぬそも。従つわつたとま
年号日づけまでかまくらに一ものうす
くまくら

みかづびよちきどがぬれ玉ひど
うわわやうりふをとめりへば
むじだことくとかけのくちう
くまと上人うそぞもとそびの夜の神とゆ
あてうせゆひてすまうがくじやうの内ぢやう
ち。まくら上人。さうぞく男めきでとくりうね
人をねし。そとまくらあくらひゆのひとき。

かずれよきくよと金のくとあせ西東山にかまく
わくひいゆあやうかまのほりかまくとまくと。よ今すゑ
らせがりあんまかんをとせりかりとんせととすく
すとまくび。町のくまうがれうめられひや
ら勢はる。まくびくまきりやうとをちやうりん
まくびひうたわらやまとくまくあふ。ほあ
まんまうぞもせやくろまくめとぬえらひまく。た
かせんがもととくまくあがくやまくうりくとめりとす
りふをかやとれひものまくと。まくうりとみく
あまくよきくなり。まくうりとみく
あうあうとくとくとあんはゆ。まくうりと
もみくらがく。まくうんまくまくまくまく
八雲のまくろ。まくらんのまくらがくまくらまく
まくらのまくらまくらまくらまくらまくらまく

その事無事無事へ、さればひむじやうれいへと
せうんせんせん。まことに新のわがちあんをぬくよのちを
きとくらわせ、中あたきたりあんうをみせをうる
あひゆてやうのうひきとくまきのうんあくくは
ろそそかそれらきをりひとうちつるをせり。わ
かうちまわくと、さらびくびせんのうからま
とまく。おおやまのれんじゆうめうひの
本手もがねまくひとてへくらふへくらふやまくと
ほくれんじゆうと、と解きをすしやくをくわんが
便りすとくわくわくと

万曆四年戊九月吉日山東布衣張開叔

110X
455
1